

令和 5 年度 第 3 回磐田市多文化共生社会推進協議会 摘録

日 時	令和 6 年 3 月 8 日(金)午後7時 00 分～午後 8 時 30 分
場 所	磐田市役所 本庁舎4階 大会議室
出席委員	田中副会長、川原委員、渡邊委員、平野委員、松下委員、仲村委員 松井委員、神谷委員、薛委員
事務局	ダイバーシティ推進室長、担当職員 2 名
オブザーバー	学校教育課 担当職員 1 名 名古屋出入国在留管理局 職員 2 名

[会議内容]

1 開会

2 副会長あいさつ

3 報告事項

- (1) 第 2 回協議会の振り返りについて 資料 1
- (2) 磐田市日本語教室の実施状況報告 資料 2
- (3) ポルトガル語版広報いわた電子化計画について 資料 3
- (4) 自治会向け「テレビ de 通訳」貸出の検証結果報告 資料 4
- (5) 静岡産業大学留学生連携事業の結果報告 資料 5
- (6) 4 市 1 町の多文化共生広域連携促進会議の結果報告 資料 6

4 協議事項

- (1) 技能実習制度見直しに伴う受入環境の見直しと連携について 資料 7

※名古屋出入国在留管理局から説明を受けた後、グループワーク

5 閉会

[会議概要摘録]

1 副会長あいさつ

・登録日本語教員制度について

文化庁で登録日本語教員などについて方針を固めており、磐田市も情報を掴みながら、上手く進めてもらいたい。

・技能実習制度の改正について

技能実習生の制度の法改正について、様々な変化がある。本日の協議会でも議題に上がっているため、皆さんで積極的に情報交換や意見交換をしてもらいたい。

2 報告事項における主な意見

(1) 夜間中学校との連携体制について

- ・夜間中学校では、日本語の指導に苦慮しているという声がある。
日本語教室と連携することで、日本語指導のノウハウを共有したり、日本語指導を部分的に負担するなど、協力体制を築いて学習環境整備を行う必要がある。

(2) テレビ de 通訳機の普及について

- ・自治会に普及をしていくためには、直接サービスの説明をしていく必要がある。
まずは事例として、モデルとなる自治会を対象として進めることが望ましい。
- ・やさしい日本語と併せて普及することで、より効果的な活用が見込まれる。

(3) 企業向けセミナーの開催について

- ・技能実習制度改定に伴う危機意識が不足しているため、課題の共有の場となり、解決に向けた方向性の統一の場となってほしい。
より多くの企業が関心を持てるよう、企業の声聞きながら進めてほしい。

3 協議事項における主な意見

(1) 技能実習制度見直しに伴う受入環境の見直しと連携について

- ・ワークショップ形式で、ワークシートを活用して議論を実施した。
議論結果については、別紙ワークシートに取りまとめ。